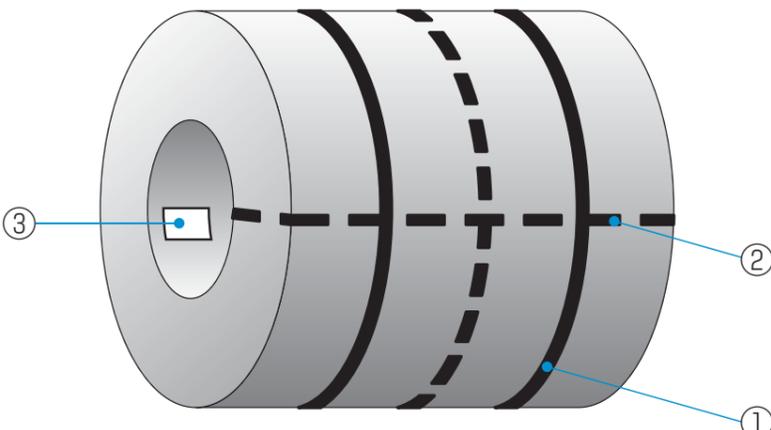


結束および梱包

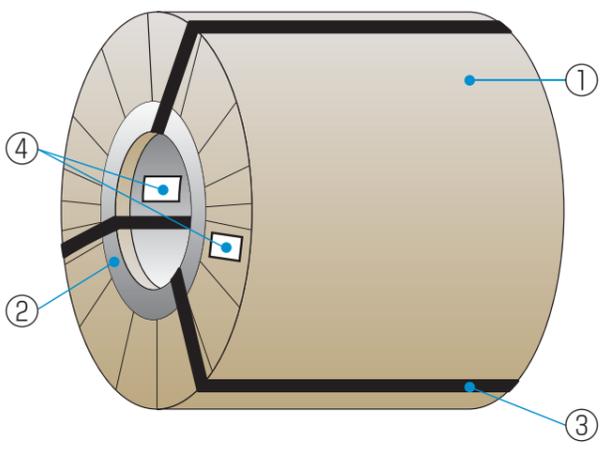
■亜鉛めっき鋼帯の結束・梱包・表示箇所

コイルの結束

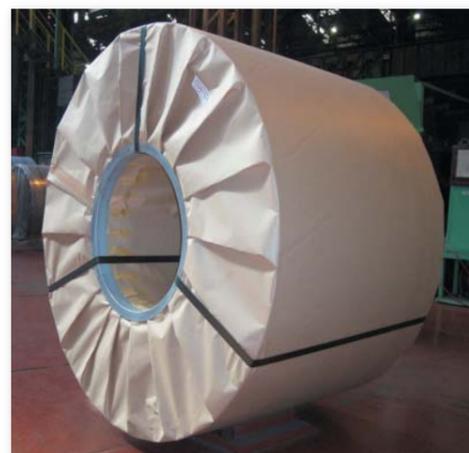


使用資材	①	胴バンド	t<3:黒フープ2本, t>3:黒フープ3本(点線部)
	②	アイバンド	ジンク塗油材 t>3:1本(点線部)
	③	ラベル	内周部1枚

コイルの梱包



使用資材	①	梱包紙	—
	②	当て金	内径両端
	③	アイバンド	黒フープ3本
	④	ラベル	内周部1枚、側面1枚



注：1. 原則としては上記方法により結束・梱包を行います。ただし上記方法によらない場合は事前にご相談ください。

ご使用上の留意点

■保管・荷役

荷役・保管中の雨水・結露などによる水濡れは白錆の原因となりますので、なるべく乾燥した清浄な場所での荷役・保管をお願いいたします。また梱包紙が破損した場合は補修するようお願いいたします。長期間、コイルやシートで重ねられた状態で保管されますと、めっき表面が黒色化することがありますので、お早のご使用をお願いいたします。

■取扱い

コイルバンドを取り外す(切断する)場合は、コイル端部がはね上がる等の危険がありますので十分ご注意ください。コイルの転倒や切板の荷崩れ等を避けるため、安定した状態での保管をお願いいたします。

■加工について

加工の際、表面に疵をつけると耐食性、塗装性に悪影響を及ぼします。特にプレス加工では、潤滑油の種類によってはめっき層を腐食する場合がありますのでご使用前にご確認ください。

■溶接

亜鉛付着量や化成処理の違いにより適正な溶接条件を選択する必要があります。溶接にあたっては、酸化亜鉛を主成分とするヒューム(白煙)が発生しますので、風通しのよい場所で作業してください。

■時効

鋼板は時間がたつにつれ硬くなる傾向があり、加工性の劣化、ストレッチャーストレイン、腰折れ等を招きます。これを避けるため、なるべく早い時期でのご使用をお願いいたします。

■需要分野と用途例

- 建築、土木、住宅、変圧器、家電等の幅広い分野で使用され、お客様のニーズの多様性からその需要はますます拡大しています。
- また、角パイプ、丸パイプ、その他の成形品として用途は多岐に渡ります。



建築部材



各種成型品

- ドア、サッシ、シャッター、ガードレール、デッキプレート、フェンス、ダクト、足場管、農ビ管、支柱、建築金物、鋼製家具、鋼製下地、配電盤、業務用機器、間仕切壁 等